



$$\text{丹生 } 2 \left( \begin{array}{cc} 2 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{array} \right) 0 \text{ 天理}$$

<得点>

丹生 : 1分 #11小林由、14分 #8中山

天理 :

<戦評>

天理高等学校のセンターパスにより前半戦が開始された。開始早々、丹生高等学校は#5小林久が、パスを受け、#11小林由がブツシュートを決め、先制点を挙げる。得点が欲しい天理も果敢に攻めるが、試合は丹生のペースで進む。リードを広げたい丹生は14分PCを取得し、#8中山がスイープシュートで追加点を挙げた。31分再び丹生はPCを取得するが、天理GK#1瀧本の好セーブにより得点を阻まれ、2-0のまま丹生のリードで前半戦を折り返した。

後半戦が開始。追いつきたい天理は#6川原のインターセプトからゴール前まで攻めるが丹生の堅いDFにより攻め切ることができない。追加点をあげたい丹生は50分にPCを取得するが、#4辰己が止め得点することができない。62分#7佐々木からゴール前のパスを#11小林由が受けシュートを打つが、GK#1瀧本の好セーブにより阻まれる。試合終了間際に天理がPCを取得するが、得点することはできない。そのまま試合は終了し2-0で丹生が明日の決勝戦へコマを進めた。

テクニカルオフィサー	苺谷 和代	アンパイア	福山 秀人
ジャッジ	北川 友香子、熊崎 里奈		平山 誠大